

# 福祉のなごま

2014年  
1月号  
第272号  
全国福祉保育労働組合

〒111-0051 東京都台東区蔵前4-6-8サニープレイスビル5FA  
TEL 03-5687-2901(代) FAX 03-5687-2903  
メールアドレス mail@fukuho.org  
URL http://www.fukuho.info/  
ツイッター @fukuho\_info  
発行責任者/前田鉄雄  
2014年1月5日発行

福祉  
トピックス

## マンガでわかる生活保護「陽のあたる家」 反響広がり単行本に

女性向け月刊誌「フォアミセス」に連載され、「我が家でも起こり得る出来事。他人事とは思えない」などと反響が広がった「陽のあたる家～生活保護に支えられて～」(作: さいきまこ 秋田書店)が昨年12月に単行本

化。監修した生活保護問題対策全国会議の小久保哲郎弁護士も「生活保護を正面からテーマにした作品はおそらく初めて。生活保護などけしからん、と思う方こそ、ぜひ」(毎日新聞)と語るマンガ。おすすめです。

あけましておめでとうございます。

憲法25条にもとづく福祉制度の確立を求め、3年間の大きな運動として、「福祉は権利！」みんなの一步キャンペーンがはじまりました。

各地の青年部長に楽しく・元気に「みんなの一步」をふみだす新年の決意を語ってもらいました。

全国青年部長 石脇のぞみさん



各地の青年の声をたくさん聞いて、実情や素直な思い、今の青年の要求などもしっかりとつかんでいきたいと思えます。また、来てもらうのを待っているだけでなく、自ら外へ出て行って話を聞く活動も行っていきたいです。話を聞かなかつて学びになることも多いので、たくさん話を聞いて、交流して、学ぶ1年になりたいと思えます。

わたしの  
一歩  
2014

みんなの  
一歩

# 福祉の未来へ 大きな一歩

2014年はこちらから青年部がどんなことをやっているのか、話し合っているのかなどをニュースや独自ブログで発信していきたいと思えます。また、スタッフ会議をしてもなかなか集まらないので、出張しようという意見も出ました。こちらから出向いて(出張スタッフ会議)、青年の輪がより広がりやすいようにしていきます。



東京地本青年部長 佐藤茂喜さん

北海道青年部部長になって2年目。戸惑うこともありますが、他のメンバーに助けをもらい活動を進めています。2012年度から始まったスポーツフェスタが好評で2013年度も行いました。毎年の恒例イベントのひとつになりそうです。2014年も若者をはじめ、みんなで楽しめるとりくみに挑戦していきたいと思えます!



北海道地本青年部長 和家杏子さん

栃木の青年部は結成して3年目になりました。少しずつですが、様々な人とつながり、活動するかも大きくなっています。今年はさらに同じ思いの仲間たちが集まり、一緒に色々なことにとりくんだり、話したりできる場所をもっと広げたい。みんなで考えながら楽しい1年にしていきます。



栃木支部青年部長 井上香里さん

一人ひとりのちいさな一歩を合わせて大きな力にしていきたい。「～しても…」「～したところで…」と考えてしまいがちですが、「してみよう」「こうしたい」と一人ひとりが勇気を出して踏み出すことで新しい力が生まれ、立ち上がる大きな壁を乗り越えられる力になるはず。そういう力を作って行ける1年をしたいです。



大阪地本青年部長 大海良司さん

## マンガタイム



## 福祉の風

ある分会が年末一時金の要求書を提出したところ、昨年比0.3ヶ月減という大幅引き下げ回答が届いた。法人内の多くの事業所が赤字で、経営難になっていることを減額の理由にしている。しかし、上半期の入件費は約1500万の黒字。常に病休職員がいる、募集しても職員が集まらない、つまり必要な人材が現場に揃っていないための「黒」だ。職員は日常的に1人分以上の労働をしており、このままだとさらなる病休者を生み出す。さらに人手不足は利用者の受け入れも人数も制限し、さらなる減収にもつながる。この引き下げ提案に対する回答以上の支給を求め訴え、0.01ヶ月の上乗せを実現した。組合でがんばった成果はあったが、黒字となった約1500万の多くは事業所の赤字補填に使われることになる。素晴らしい経営理念や綱領を掲げても、労働者が心身ともに健康で働き続けられる環境がなければ、それは活かされない。だからこそ組合を強く大きくし、奮闘する仲間たちとともに、14春闘を元気にたたかていきたい。

(岡)